

政策提言は活



提言1 安心して暮らせる「まち」づくり

有害鳥獣対策の充実と強化を

【担当：林政課】

内 容	回 答
◇電気柵や捕獲ワナの設置などに引き続き支援を行い被害が減るように努めること。	◇自家菜園も含めた耕作地の電気柵設置への補助金を引き続き支給しているほか、地域ぐるみで設置を希望する地区には広域電気柵の貸し出しも行っている。
◇銃弾の値上がりで猟友会員の個人負担が増えているので、報酬を上げること。	◇令和6年度から銃弾や捕獲用エサの購入代金を支援している。また、令和7年度からは活動賃金と新たに狩猟免許を取る人への補助金を増やした。
◇有害鳥獣処理施設をつくるにあたっては、候補地となる地元住民と町民の理解を十分に得ること。	◇近県の先進的な取り組みをしている施設の視察や町内数カ所の候補地を確認しながら選んでいる。特に候補地となる住民の方々には必要性や安全性を丁寧に説明し合意を得られるように努める。



提言2 移住・定住、郷土を愛する「ひと」づくり

安心して子どもを産み育てられる取り組みを

【担当：健康福祉課】

内 容	回 答
◇出生率を上げるための新たな取り組みを抜本的に行なうこと。	◇妊娠した段階での給付金、子育てアプリの充実、オンライン相談の実施検討、中高生を対象に乳幼児とのふれあい体験を行ない未来の結婚や子育てを考える機会になるようにしていく。
◇デジタルの活用も含めた若者の視点を生かし、婚姻率向上の対策に向けプロジェクトチームを立ち上げること。	◇若者から結婚への思いや意見などを聞く機会を設け、ニーズを事業に反映していきたい。婚活イベントはノウハウのある民間企業と連携していく。プロジェクトチームに関しては検討していく。

住み良さを感じる移住・定住支援の充実を

【担当：企画政策課】

内 容	回 答
◇地域人材ベースキャンプの充実や魅力化を図ること。	◇これまで、移住者2人を含む3人を雇用している。働く人とマルチワーク事業協同組合双方から意見を伺い魅力化を図っていきたい。
◇移住者が本町で誇りを持ち生活できるようにし、さらに移住者や定住者が増えるようにすること。	◇移住者に対しては、定住に向けた支援を行っている。 (住宅を手に入れた時の支援金や、経済的な支援金がある※年齢要件あり) 令和7年度からは移住者ケアに対応できる体制づくりを行っていく。